

## 那覇市民会館における耐震補強等に係る調査結果について

### 【概要】

那覇市民会館は、耐震診断の結果や建物の老朽化の状況を踏まえ利用者の安全を第一に考慮し、去る平成 28 年 10 月 13 日付けで休館しており、休館に伴い、建物の歴史的価値も踏まえ、今後のあり方等について参考とするため、耐震補強等に係る概算費用等の調査を行ってきたところであります。

今回、当該調査の結果がまとまりましたので、ご報告いたします。

また、今回の調査結果は、主に建物の躯体に係る耐震補強工事及び耐久性確保改修工事に必要な概算費用等を試算したものであり、実際の本施設の利活用の検討にあたっては、さらなる詳細な調査及び設計等が必要となります。

なお、市民会館の機能を引き継ぐ「新文化芸術発信拠点施設」につきましては、ご承知のとおり既に久茂地小学校跡地への建設が決定しており、平成 33 年度の開館を目指し、今年度は実施設計を取りまとめ、平成 30 年度からの工事着工に向け、鋭意取り組んでいるところであります。

### 【概算費用】

那覇市民会館の耐震補強工事（躯体）及び耐久性確保改修工事の概算費用

A	耐震補強工事（躯体）	：約 541,312,000 円
B	耐久性確保改修工事	：約 2,564,220,000 円
	合計（A+B）	：約 3,105,532,000 円

当該費用は、一般的な工法を想定した概算であるため、工法等の変更や詳細な設計等により変動するものであり、その他必要と想定される次の費用等は含まれておりません。

- ①屋根及び床の改修工事
- ②その他内部改修工事（前述の工事以外の設備等も含めた工事）

### 【概略工期】

概略工期については、現場調査、耐震補強及び耐久性確保に係る設計及び改修工事等で、概ね 3 ヶ年を想定しています。

### **【今後のあり方等】**

那覇市民会館の今後のあり方等につきましては、今回の調査結果を踏まえ、関係部署と連携を図るとともに、今後検討委員会を立ち上げ、有識者や市民の声を伺いながら、総合的に検討して行きたいと考えております。

### **【参考】**

那覇市民会館は、沖縄の伝統的建築物の特徴である雨端（あまはじ）等を現代建築へ取り入れていることが意匠上の特徴となっておりますが、当該改修工事等を行った場合はそれら特徴的な意匠が損なわれる可能性があります。